

イエネコのあゆみ

縄文時代

- 古代エジプト：ネズミを退治する猫（リビアヤマネコ）が家畜化→神聖な生き物として崇拝
- 日本：オオヤマネコが野生していた。

弥生時代

- エジプトから南ヨーロッパ、中東へネズミから食糧を守るため持ち出される
- 「リビアヤマネコ」がヤマネコと交配しヨーロッパに広まる

古墳時代(5世紀)飛鳥時代

- シルクロードを経て中国に持ち込まれる
- 教典をネズミから守るために重宝がられる

ネズミ退治
室内飼い
愛玩化

奈良時代

- 中国から日本に持ち込まれる
- 貴族の間で飼われ愛好される（「唐猫」と呼ばれた）

平安時代

- 日本霊異記（亡くなった父が猫になって息子に飼われる）
- 枕草子（猫の名前をつけた）
- 源氏物語（引き綱をつけた猫）
- 鳥獣戯画（日本猫を思わせる短尾）

鎌倉時代

- 徒然草（年老いた猫が化ける）
- 猫又や猫鬼の伝承によって妖怪視されるようになる

猫の虐待

室町時代

- ヨーロッパ：魔女狩り—悪の象徴とされ、ネズミが繁殖し、ペストが流行
- 豊臣秀吉「猫を首輪につながないように」

放し飼い

江戸時代後期

- 短い尾のネコを好む（ジャパニーズボブテール）
- 「日本猫」の原型

ネコの生態

ネコ(猫)

狭義にはネコ目（食肉目）・ネコ亜目・ネコ科・ネコ亜科・ネコ属に分類

小型哺乳類であるイエネコ（学名：Felis silvestris catus）の通称

広義には、ヤマネコやネコ科動物全般を指す

ネコ科(学名: familia Felidae、英語名: Felids)

脊椎動物亜門 哺乳綱 ネコ目（食肉目）に属する動物の一分類群（1科）

大型ネコ：猛獣のライオン、トラ、ヒョウ、ジャガー、チーター

小型ネコ：オオヤマネコ、ピューマ、ボブキャットなど イエネコ以外の小型ネコはヤマネコ

イエネコとその他のヤマネコとは、交雑することが可能

ヤマネコ (Felis silvestris) の1亜種 (Felis silvestris silvestris)

● 生態

夜行性

肉食：食物連鎖の頂点

単独

狩りに適した身体的特徴

● 特徴

爪：収納することが可能

肉球：足音を消す

野猫(のねこ)

ネコ科の家畜種であるネコ（イエネコ）が野生化した個体群である。

野良猫と野猫は、通常は同じ意味

野猫の定義人間の生活圏への依存が全くみられない、野生動物

野猫と野良猫に遺伝的な違いはないが、食生活によって区別する

野猫と、ヤマネコは遺伝的に異なるグループである

ヤマネコ(山猫)

ネコ目（食肉目）ネコ科に属する哺乳類のグループである。

1. （野生化したイエネコを除く）野生の小型ネコ科動物の総称。
2. 日本に生息するベンガルヤマネコ（ツシマヤマネコ、イリオモテヤマネコ）
3. ヨーロッパに棲息するネコ属の1種、ヤマネコ Felis silvestris。
4. 野猫（野生化したイエネコ）の別称。